

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

秋季号

日本アシュラム

Autumn 1982

United Christian Ashrams of Japan

41

▼連盟は創始者の祈りによって、生まれつきの参加を期待している。

ジム・マシューズ博士夫妻を迎え 全国四地区でアシュラム開かれ

恵みは雨の如く降り注がれる

前号第一面に詳しく紹介したジェームス・マシューズ博士夫妻は、去る九月二一日午後成田に到着、大石総務の出迎えを受け、国際文化会館に投宿、二三日午前中に御殿場の東山荘にいられた。父スタンレー・ジョーンズが戦後十回も全国を巡回伝道し、アシュラムを各地に植えた日本に初めて来日された感慨をもって、深い祈りのうちに、関東地区の第二十回アシュラムを皮切りに、関西地区の第十六回、九州の第十七回、四国の第十五回と次々に全国四地区のアシュラムを精力的に巡回し指導して下さった。その成果については各地区の報告によって知ることが出来る。

海老沢理事長は関東地区の開会時間を割愛して頂き連盟を代表して、日本への御来援を歓迎し、感謝の言葉を書き述べ、マシューズ博士夫妻はそれそれ初めて日本の兄弟姉妹と共に聖書を祈り深く入る時を持ち得る幸いを喜んでいらるとの御挨拶があった。マシューズ博士はさすがに伝道者の息子であると共に、若い日にスタ



第20回関東アシュラム1982年9月22日～24日 於東山荘

ンレー先生の説教で献身し、神学校を出ると、その師より遅れること三十年、同じインドへ宣教師として渡り、早くからサトタル・アシュラムに参加、師の指導感化を受けて、主の良き器となり、インドの教会からも尊敬され、帰米してはメソジストの東部地区監督に二度も推挙され、老境に達したスタンレー先生から「米アシュラム連盟の理事長と世界アシュラムの指導者になるように」と推薦された方だけあって、堂々たる体格と悠々迫らない態度を通して、主イエスに全く明け渡した信仰と聖書の御言に対する深い洞察から出る愛とを、何れの地区アシュラムにおいても、参加者一同に溢れるばかりに取次いで下さった。

明るい円満な人格は、全ての人を暖かく包み、国際的視野の広さは、日本の芸術、茶道、華道にも関心を持たれ、また英語で俳句をものさる一方、日程の僅かな合間をさいて広島島の原爆碑に詣で、記念資料館を日帰りで見て来られ、いよいよ世界平和のため、亡父スタンレー同様、和解の使者としての活動に熱を入れられておられる。このような師を僅か四地区で、総計五百名足らずの人々によって迎え、交わりの時を持ったことは惜しい限りであった。日本連盟はぜひ共、近い将来に再び同師を迎え、更に多くの兄弟姉妹にも、恵みに浴して頂きたいものと願っている。

編集人 海老沢 宣道
発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 千60円



〈第一回講演〉

マタイ福音書序論

ジェームス・マシューズ博士

讃美歌四六一番を一緒に歌いたい。
主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらじ

わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われを愛す

どうしてこの讃美歌から始めたか、それには理由がある。大分前のことカール・バルトがリッチモンド神学校を訪れた時一人の年若い神学生が彼に質問した。「あなたは世界的な神学者ですね。あなたが経験されたことで、神学上最も大切だと思われる点は何かですか？」バルトは答えて言った「私が神学上最も大切なことと考えるのは、『主われを愛す』の讃美歌に歌われていることである」と。それで今日はこの讃美歌を歌うことから始めたのである。

もし私達が、この歌の意味を学ばなければそれ以上に達することはむづかしい。これは重要なことである。神が私達を愛しているという事実を知っている故に、私達は福音宣教の業に仕えることができるのである。パウロが教会宛に述べた挨拶は、「わたしたちの父なる神および主イエス・キリストから、恵みと平安があなたにたにあるように」であった。

この二つのもの「恵みと平安」は現代世界に最も必要なものである。

スタンレーはよく言った「日本のクリスチャンは、アシユラムを自然に受け入れた。よいアシユラムを持つには、ある程度訓練が必要である。日本のクリスチャンはその資格を十分に持っている。だから日本のクリスチャンは印度のアシユラムに参加しても、フィンランドでも、あたかも自分の家にいるように振舞うことが出来た。フィンランドでは、あの国の代表的な曲である讃美歌二九八番を、日本の代表者達が歌った。フィンランドのアシユラムは、その作曲者シペリウスが生れた家の前で行われたのである。

私は今回与えられた時間でマタイによる福音書を勉強したいと願っている。私はマルコによる福音書が最も好きである。それは、いちばん短くていちばん古い福音書だからである。時々ルカによる福音書も引用する。ヨハネによる福音書は、最も人々に愛された福音書であると言われている。マタイによる福音書には「教え」が最も多いが、まず、ルカ二四の三

一、三二を引用したい。「彼らの目が開けて、それがイエスであることが分った……」更にマルコ七の三四を引用したい。「天を仰いでため息をつき、その人に『パタ』と言われた。これは『開けよ』という意味である。目が開けてそれがイエスであることが分った……この意味でここを読んで貰ったのである。この箇所を引用してよい説教をつくってほしい。

オランダにクレイマーという神学者がいた。彼はレーマンであった。彼は言った「クリスチャンが聖書をよく読まない限り一つになることはない」と。

アシユラムは常に聖書を勉強する。神の言、恵みの言、真理の言、いのちの言としての聖書を学ぶ。私達は常に聖書に基づいて生活する者である。

聖書は又危険を持つ本である。私にビルマの仏教徒の友人がいる。彼が新約聖書を勉強し始めた時、彼の母は「そんな本は捨ててしまいなさい。それは危険な本である」と言った。聖書はほんとうに危険な本である。何故なら聖書は読んだ者の人生を変えてしまうからである。ポリビヤの私の友人はクリスチャンとなったために投獄された。ポリビヤの指導者たちは、聖書を持っているクリスチャンは、爆弾を持っている革命家より恐ろしいと言った。

ルターの時代には、聖書の話をすることは、現在の爆弾を持っている者達の話よりも危険だと思われた。マタイというアメリカ人はクリスチャンではなかったが、彼は真理を言ったことがある。「私は聖書の中が、分るところには私を非常に悩ます」と。

これから私達は三回にわたってマタイによる福音書を勉強したい。聖書について学ぶのではなくて、聖書そのものを学んでほしい。これからの三回の勉強でマタイ全体について学びたい。ひとこと祈ります。「神よ、私達に御言を示して下さい」

最新刊
 スタンレー・ジョーンズ博士の遺著
神の然り B6判 220頁
 定価1200円 送料250円
 〈キリストに明け渡した人生〉
 海老沢宣道訳

日本を愛し、救霊のため戦後十回の伝道ぶさ人探を終え、米後半中に倒れた病中一年余に口述された万人への遺言が、一人娘マシューズ夫人により編集出版された。宇宙人生の真理を追求する者の必読書。

発行所 日本クリスチャン・アシユラム連盟

『イエスは主である』

マ書十章九節

アシユラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

好評三版
スタンレー・ジョーンズ著

い。その言葉にあなたの約束を、あなたの恵みを、あなたの恵みにあなたの栄光を、あなたの栄光にあなたの善を、あなたの善にあなたの愛を、あなたの愛にあなた自身を、イエス、キリストの総てのものをお与え下さい。イエスの聖名によって。アーメン。

さて、皆さんと一緒に、マタイによる福音書の全体を五分間で読むことにしよう。それは可能だと思うか？ 皆さんが各自一章づつ分担して読めば皆で二十八章全部を二回か二回半読んだことになる。更にもう一つお願いしたいことは、自分が読んだ章の最も重要だと思われることをその章の題にしてほしい。それを皆で一覧表に作って見よう。

私達はこの表でマタイによる福音書を始めから終りまで、また終りから始めまで深みを以て話すことができ。この物語で語られることは又私達の人生について語ることもなる。註解書に頼らなくてもお互に話し合うことが出来る。第一回の講義を終るにあたって皆さんに宿題をさしあげたい。

〔宿題〕 自分が読んだ章をもう一度注意深く読んでおいてほしい。明日その章について質問しながら、お話を進めたい。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
誕	博	バ	誘	八	主	一	癒		伝	休	安	譬	五	四	神	変	無	天			宮	バ	終	天	聖	十	復
		プ		つ	の	つ			道	息	息		千	千	の	貌	限	国	の	警	の	中	の	末	国	へ	字
	士	テ	ス	祝	祈	の			の	の	の				キ	の	の	の	の	入	の	の	の	の	の		
生	達	マ	惑	福	り	家	し	義	恵	主	話	人	人	ト	主	し	話			城	え	戒	兆	道	餐	架	活

(三) 聖霊の啓導と充滿
(四) 神の国の体験と献身
(五) 教会への奉仕と伝道

短歌

第二〇回アシラムにて

安藤 信太

マタイ伝徒横無尽にひきましてイエスは主なりと説き給いけり
眼を細め白き歯見せて笑み給うマシ
ユース博士の童顔したし

主イエスの口より出でしみ言葉かア
バ父アーメンハレルヤエバタ

亡き友がアシラムノートに残した
りいかなる時にも主により頼め
わが恵み汝に足れりのみ言葉に心う
るほい山狂くたる。

J・マシユース師より来信

御国と韓国へのすばらしい旅から去二十日夕に帰宅しました。今回の経験から得た豊かな深い永続する思い出の数々のため、荷物の苦勞も感じませんでした。あなた方の親切を忘れることができません。あなた方は実に神御自身の民です。お話ししたように、私たちはアシラム運動が日本に深く根づき活力あることを見出して力づけられました。あなた方の指導は実に重要であったと思います。私たちの参加した四地区の

「アシラムとは何か」
(付) 一日アシラムの守り方
JUCA小冊子 (価百円)

アシラムで生ける主の御臨在と真のコイノニヤ(靈交)の確かさを経験しました。言葉のちがいに拘らず、その垣根を超えたクリスチャンの心の通いがありました。どこでも若い指導者が生れていることは将来の希望です。同時に長年奉仕して下さったあなた方の忠実な指導を心から感謝します。

今日の日本人の特色である大きな活力を学校で工場で列車の中で街頭で確かめました。伝統の尊重と芸術的感覚が力強く融和されていることは、旅行者を非常に感動させました。韓国でも少し違ったアクセントで同様の現象を見ることができました。全国民が耐えている苦難と絶えざる恐怖とは、多くの差異を乗り越えようとする決意と創造的な場となっています。教会の成長はすばらしいので、アシラムが参与すればあの高活動力に深さと安定性を与えることができるでしょう。問題はこの面の指導者がいないことです。

重ねて御親切を感謝し、お話し下さった「神の然り」が貴国の多くの人々に祝福を与えたことを思い、この愛の労苦に御礼を申し上げます。神の祝福が御一同の上にあるように、妻のユニスも心からの御挨拶を私と共に送ります。

於 十月二三日ワシントン
ジム・マシユース

各地ニュース

◇関東アシュラム(第二十四)

主題を「震われぬ御国、変らない人格」と定め、全委員三〇名が一ヶ月間、毎日時を定めて準備の連鎖祈禱をした。九月二二日(水)開会時には八〇名の申込中、七四名が東山荘に到着、午後三時、開心の時(岡田委員長)オリエンテーション(草村)、マ博士歓迎の辞(海老沢)夕食後、マ博士の時(司会、洲江)で第一回講話から恵まれ、祈りの細胞(七組)でそのニードのために祈る。十時から翌朝まで連鎖祈禱に入る。二三日(木)静聴の時(植村指導)エペソ書二章に聴く。朝食後、マ博士の第二回、引き続き全体祈禱会、(指導、海老沢)労作の時(草村)昼食後、ファミリーの時(司会、岡田)、続いて祈りの細胞、夕食後、讚美と証しの時(司会、島)マ夫人は「神の然り」編集の苦心を、松沢信広兄は「祈りの支え」を、稻毛三郎兄は「事業を主に捧げて」を証しされ一同感銘を受く。医しの時に多くの兄弟がひざまづいた。連鎖祈禱の後、二四日(金)朝、静聴の時、(海老沢)ヨハネ伝五章に聴く。朝食後、マ博士の時(第三回、司会、今井)三回にわたりマタイ福音書全体の構造内容の解明を伺う間に、生ける主の御臨在を見た。そして最後

の充満の時(司会、満丸)に全員が今回の参加によって受けた恵みを表明し一同輪になって四〇五を唱和、感激のうちに散会。

◇関西アシュラム(第十六回)

主題はコリント第一書一章三〇節として、多くの方々の御支援により例年の如く千里山シオンロッジにて実施、隣接の千里山教会を会場として借用、九月三十日(木)から一泊二日間であったが、六九名(登録七八)の参加を得、一同深い大きな喜びを与えられた。マ博士のご指導、中路師の説教、金元治、金徳成両師の祈りの奨励、分ち合い(後宮師)、中島師の閉会説教を通し、豊かな学びと交わりの時を共にした。

◇九州アシュラム(第十七回)

故スタンレー・ジョーンズ博士によって開始された九州アシュラムは、最近各県に地区アシュラムとして展開し、九州全体が一堂に会することは少なくなつた。そういつた中で、故スタンレー博士の女婿で後継者である、J・K・マシュー博士夫妻を迎え得たことは一つの霊感であつた。

テーマは「あなたは、わたしに従つてきなさい」(ヨハネ21・22) ヨハネ福音書を三日間にわたって通読する計画だったが、マシュー博士の希望でマタイ福音書に変更、師の

オリエンテーションで開心の時に入りました。穏やかな中にも参加者ひとりひとりの、心の奥底まで浸透するような、博士の指導は、さすがアシュラムの原点に出会つた感動であつた。

会場は、福岡市を眼下に展望する千石荘で周囲の山々の静寂に囲まれながら、深い自己との対決の中で主との交わりを経験した。

参加者は三十名の小集会であつたが、それだけに家族的な交わりの中で、マ夫人から故スタンレー博士の思い出など伺い、アシュラムの交わりの恵みを分ち合つた。小さな群れの為に、遠来の博士を送つて下さつた日本アシュラム連盟に、心から感謝したい。

◇四国アシュラム(第十五回)

「神への明け渡し」を主題に十月七日から二泊三日松山済美会館を会場として開催、内外の不都合あつて参加者二八名の少数ながら、マ博士夫妻の話と指導はすばらしく一同感謝感激、祝福に満たされた。金元治師の通訳は霊的で、今後各地に推薦したい。今回のための献金も事情で十分にできず申し訳けない。

◇マシューズ博士、伝道礼拝

説教 碑文谷教会 九月二六日 七〇名 大阪扇町教会 十月三日 一三〇名 松山番町教会 十月十日 七〇名 ◎四地区と三教会出席合計四七一名

総務だより

大石嗣郎

マ博士夫妻の初訪日は各地兄弟の協力により無事終了し感謝です。当初の予算の半分を少し越えた募金状況です。尚募金中ですのでご協力をお願い申し上げます。

◇マシューズ歓迎献金

- (40号以降、十月末現在) 十万円 九州アシュラム(川野) 五万円 四国アシュラム(宇都宮) 二万円 西川口教会(横川) 一万円 有馬歳弘、更生教会、増田道義、岡田実、草村美、碑文谷教会、伊藤愛信、今井寿、武井啓治 五千円 海老沢すま、沢田一雄、近藤貞子、桐生喜代、加藤薫子、榎本照代、江古田教会婦人会、函館千歳教会、無名氏。 四千元 服部潔 三千元 奈倉正子、無名氏(二名) 二千元 角田豊、竹内トミエ、洲江千代子、植村俊雄、大石貞子、吉田清江、無名氏(五名) 一千元 仁戸素子、窪田しげの、吉沼せい、志村卯三郎、寺田高義、無名氏(五名)、五百円、無名氏。 以上小計三五〇、五〇〇円 累 計四五一、五〇〇円

◇連盟賛助の祈り(40号以降)

- 一万円、洲江淳一、大石嗣郎 八、七八〇円、書籍売上 以上小計 一五三、七八〇円 累 計 二八、七八〇円 以上深い感謝を以て頂きました。

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱生活運動である。

東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会会付 日本クリスチャン・アシュラム連盟 振替口座東京〇一四五五八番